

第 2 回推進会議以降の各取組ワーキンググループの活動報告

<b>魅力発信・商業地賑わいワーキング 活動報告</b>		担当取組項目： 情報発信等 1～4,7～13, 20～23, 67 商業施設等 97～105 教育 5,6 雇用 111, 112
京都市の事業補助を活用して組織を立ち上げる、新たな取組を行うなど、活動が進められている。 ○向島秋の祭典事業（向島まつり） ・向島地域全体のまちづくりイベントを目指して、事業補助を受けて実行委員会を立ち上げ、開催の準備を進めてきた。10/29（日）開催予定であったが台風接近により中止となった。今後の実施については委員会において検討予定である。 ○魅力・賑わいのための組織づくり ・事業補助を受けて組織づくりを目指している。千姫に係る学習会や、商業地賑わいアンケートの実施検討を通じて人材の発掘を行っている。 ○陸と空 二面の向島ヘリツアー ・向島の魅力を陸と空から楽しんでもらうツアーを実施した。好評だったことから、第 2 回開催（11/5（日））が準備されている。 ○ラジオ番組等で地域情報化 ・京都文教大学学生放送局のラジオ番組に、向島中学校の校長先生と生徒が参加して番組を収録した。ラジオを活用した、まちづくり情報の発信が計画されている。 ○向島駅前野菜販売朝市 ・向島駅前のローソン駐車場で野菜販売朝市を実施した。		
主なメンバー （敬称略）	地域住民	増田, 西田, 橋爪, 橋本, 宇野, 福井, 上代, 奥田, 神門, 西谷, 田嶋 他
	事業者	中嶋農園, 山本牛乳店, 千姫を偲ぶ会, 中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校, 公社, 伏見区 他
今年度まず取り組むアクション プログラム・取組	7 8 9 21 22 23 97 98	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施 向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施 農を活かした来訪者の呼び込み ポータルサイト開設・運営 タウン誌の発行 地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営 24 号線沿い賑わい施設整備の検討 向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
主な活動の報告		第 3 回 WG 会議 9/9（日） 陸と空 二面の向島ヘリツアー 10/1（日） 向島駅前野菜販売朝市 10/15（日）

第3回ワーキング 平成29年9月9日(日) 参加者:21名

(1) これまでの取組報告

項目	概要
向島秋の祭典事業 (向島まつり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>向島秋の祭典の取組をもとに、向島地域全体で行うまちづくりイベントを目指して、京都市の事業補助を得ることができた。</li> <li>名称は「向島まつり」として実行委員会を立ち上げ、開催の準備を進めている。10/29(日)開催予定。</li> </ul>
向島及び向島NT魅力・賑わいのための組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョンに基づく魅力賑わい組織について、京都市の事業補助を得ることができた。活動をしながら組織づくりを行っていく。</li> <li>千姫に係る講師を招いて学習会を計画している。11/21(火)予定。</li> <li>「向島まちづくり商業地賑わいアンケート」を計画している。</li> </ul>
陸と空 二面の向島ヘリツアー	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都すばる高校や農業事業者等が中心になって、向島の魅力を陸と空から楽しんでもらうツアーを計画中。10/1(日)予定。</li> </ul>
向島の魅力を発信するラジオ番組等で地域情報化	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都文教大学学生放送局(文教シェルパ)のFM845のラジオ番組に、向島中学校の校長先生と生徒が参加して番組収録を行った。8/25(金)実施。</li> </ul>



(2) その他の協議事項

- 以下の項目について意見交換を行った。
- 向島駅前の活性化について、向島地域の情報発信について、アンケート調査について

この間の取組

●陸と空 二面の向島ヘリツアー 10/1(日)実施 28名の参加

向島の魅力を、陸と空から楽しんでいただくツアーを実施した。



●向島駅前野菜販売朝市 10/15(日)実施。

向島駅前のローソン駐車所で、野菜販売朝市を実施した。



## 今後の検討課題

### (1) ワーキングの検討課題と進め方

○向島まつり 10/29（日）開催予定（詳細下記）

- ・開催までに6回の運営会議，2回の実行委員会を実施。実行委員長には8・9街区自治会長の田嶋さんを選出した。
- ・10月29日（日）開催予定であったが，台風接近により中止。
- ・今後の実施や体制について11月1日に実行委員会で協議。

○向島及び向島NT魅力・賑わいのための組織づくり

- ・千姫に係る講師を招いて学習会。11/21（火）予定。
- ・「向島まちづくり商業地賑わいアンケート」の検討。

### (2) 組織立上げについて

○向島及び向島NT魅力・賑わいのための組織づくりでは，アンケートの検討を通じて，メンバーを拡大し組織づくりを行う。

## 今後の予定

### 第2回 陸と空 二面の向島ヘリツアー

日時 平成29年11月5日（日）

### 第4回魅力発信・商業地賑わいワーキング

日時 平成29年11月11日（土）午前10時

場所 向島学生センターセミナーハウス

事項 取り組み報告 アンケート調査について

住環境ワーキング 活動報告		担当取組項目：24～40, 24～40, 65, 66, 106～110
<p>地域ニーズの把握や課題抽出のため、現地調査やアンケート調査などを、地域住民・各種団体が連携しながら取組が進められている。</p> <p>○市営住宅集会所の改修 1 街区集会所の改修に関して改修内容の検討と京都市担当課との調整を行った。</p> <p>○市営住宅の改善に向けてのアンケート調査 市営住宅の改善についてアンケートを実施し、地域ニーズと課題を把握する。現在アンケート案を検討中である。今後、まずはパイロットモデルとして1街区を対象に着手予定である。</p> <p>○住環境パトロール 向島ニュータウン 1 街区～11 街区を対象に、各街区の危険箇所や共用スペースの利用実態などの調査を実施してきた。「住環境パトロール」は 9 月を持って終了し、今後の課題抽出・整理をし、住環境の改善に務めていく。</p> <p>○バス路線の改善 バス路線の改善について、近鉄バス・伏見区役所・地域住民間で協議を行い、情報共有を図った。今後、地域住民を対象にアンケート調査を行い、地域ニーズの把握と地域住民間のバス路線の改善の検討を図り進めていく。</p> <p>○中央公園の再整備 中央公園リフレッシュ事業に際して工事内容の確認と地域住民への説明会を開催した。</p>		
主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木 (二ノ丸学区民児協), 増田 (二ノ丸学区子ども見守り隊) 日高 (二の丸北学区社協), 福井 (二ノ丸北各種団体連絡協議会), 宇野 (向島藤ノ木学区社会福祉協議会), 山内 (向島藤ノ木学区 民生・児童委員協議会), 山崎 (向島中央公園愛護協力会), 神門 (向島駅前まちづくり協議会), 高木 (笑顔つながろう会), 中田 (伏見区身体障がい者団体連合会), 田嶋 (8,9 街区自治会長), 内林, 福間, 森田 (1 街区), 橋詰 (3 街区), 志賀 (5 街区), 松 本 (6 街区), 他
	事業者	江籠 (京都市住宅供給公社)
	その他	小林 (京都文教大) 他
今年度まず取り 組むアクション プログラム	15	市営住宅集会所・空き家の改修と活用
	34	中央公園の再整備と、東公園とも合わせたバリアフリー化等の検討
	65	住環境パトロール活動の実施
	108	既存路線バスの利用促進の取組
主な活動の報告	第 3 回 WG 会議	○中央公園リフレッシュ事業について ○バス路線の改善について ○市営住宅の改善について
	第 4 回 WG 会議	○バス路線の改善について ○集会所の改修について
	第 5 回 WG 会議	○バス路線の改善について ○住環境パトロールの実施報告 ○市営住宅の改善について

第3回ワーキング 日時：平成29年8月1日（火） 参加者：26名

項目	概要
中央公園リフレッシュ事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に行われた地域住民への説明会の後、7月26日(水)みどり管理事務所(2)と地域住民(5名)間において協議し、公園に残して欲しい木に目印をつけることとなった。</li> <li>・9月から工事予定(詳細は後日)</li> <li>・事業期間は2年間を予定。</li> </ul>
バス路線の改善について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄バスの利便性向上へ近鉄バス本社との交渉し、主に下記の通りの内容が話し合われた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>a. バス停へのベンチ、屋根の設置について、京都市が打ち出している財政上の5分の4支援では、5分の1は近鉄バス側の負担となる。向島バス路線は赤字路線であり、近鉄バス側の負担が生じるのであれば現実的に難しい。</li> <li>b. 向島のバス路線はバス3台で運行している。赤字路線なのでバスの台数をすぐには増便できない。</li> <li>c. 路線やダイヤの変更については、地域住民の総意があれば変更を検討することも考えられる。</li> </ul> </li> <li>・向島駅を中心とした交通問題、向島駅～竹田駅間の近鉄電車に敬老乗車証を使えるようにする問題などを検討していくため、交通問題に特化した検討・研究グループを、住環境WGとは分けて立ち上げていく。</li> </ul>
市営住宅の改善について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅は退居時の原状復旧が原則となっているが、住民負担で改修して住んでいる方が少なくない。改修して住んで入る方がどれくらいあるのか、アンケートなどを行って調査し、現状を把握する必要がある。</li> <li>・駐輪場の囲い(5街区)や照明が無いこと(11街区)によって、防犯上、危険性を感じている。</li> <li>・住環境パトロールは9月から再開し、9街区～11街区をまわる予定である。</li> </ul>

第4回ワーキング 平成29年9月5日（火） 参加者：18名

項目	概要
バス路線の改善について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月8日(金)に、3者間(近鉄バス・伏見区役所・地域住民)を協議予定。</li> <li>a. 協議内容：(1) 運行ルートの変更 (2) 施設の改善</li> <li>・バス路線の改善については、向島ニュータウンだけでなく向島地域として、交渉することが必要条件となる。</li> <li>a. 意思決定の場の設定(自治会へ説明・協議)</li> <li>b. 地域住民と近鉄バスのメリット/デメリットの整理</li> <li>c. 運行ルートの検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新ルートの運行 <ul style="list-style-type: none"> <li>→利用状況やニーズの把握が必要。</li> <li>→「竹田駅行バス」のルートはニーズが高いと思われ、着手しやすい。社会実験として試行運転とアンケート調査を行い、データを集め、交渉するための根拠資料を作成することを今年度の実施事項として検討する。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

<b>市営住宅の改善について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月8日(金)に地域住民と京都市都市計画局住宅室住宅政策課と協議予定(次回WGにて報告)。</li> <li>・市営住宅アンケートを作成し、試行的に1街区から着手する。</li> <li>・今年度の住環境パトロールは、9月9日(対象:9街区, 10街区, 11街区)にて終了予定。</li> <li>・市営住宅に設置されている蛍光灯について、今後は取り換えが徐々に困難になることが予想される。LEDへの変更等について、街区単位ではなく向島ニュータウン全体で京都市住宅供給公社に打診していく必要がある。</li> </ul>
--------------------	---

**第5回ワーキング 平成29年9月5日(火) 参加者:17名**

項目	概要
<b>バス路線の改善について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス路線の改善のために、地域住民全体の総意が必要。また地域として、どのように近鉄バスを利用し、支えていくのか考えて行く必要がある。</li> <li>・そのために、地域住民に近鉄バスの利便性向上のためのアンケート調査を実施する。</li> </ul>
<b>住環境パトロールの実施報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東公園, 9街区~11街区を対象に実施。東公園は防災公園の機能があるが、利用があまりされておらず、必要時に利用できるか確認する必要があると思われる。公園のベンチやガードレールが錆びている箇所が見受けられる。</li> <li>・次回WGにて、住環境パトロールのまとめ(課題整理)を報告する。</li> </ul>
<b>市営住宅の改善について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原状復旧に関する課題の把握や住居の改善の現状の把握等、状況を把握するため、アンケートを作成する。</li> </ul>

**今後の予定**

**第6回住環境ワーキング**

日時 平成29年11月7日(火) 午後7時

場所 京都文教マイタウン向島(MJ)

事項 各取組の情報共有, 住環境パトロールまとめ, 近鉄バス運行経路・ダイヤの改善について, 市営住宅の改善について



住環境ワーキング会議の様子

## 子ども若者支援ワーキング 活動報告

担当取組項目：41～52

これまでの取組の充実と新たな取組の立ち上げを行ないながら、情報共有や連携を進め、向島地域全体での子ども・若者の成長や状況に合わせた取り組みが着実に進んでいる。

○中学生向け学習会（MJ・1街区集会所）

・MJ（京都文教マイタウン向島）で週3日開催。教員OBと学生ボランティア（京都文教大学・種智院大学）。1街区集会所でも週1回の中学生の勉強会を実施している。

○高校生年代への取組

・MJにて京都市ユースサービス協会が主体となり、毎月1回高校生向けの場所を新たに開設。場所で待つだけでなく夜に地域を歩いて声かけ等を実施。

○小学生向け学習支援

・MJで引き続き実施している。帰宅時の送迎や運営資金等が課題になっている。

○キッズキッチン

・夏から月2回実施に変更。食べるだけでなく遊びの場ともなっており良い場になっている。

○子ども若者拠点づくり実行委員会

・向島での子ども・若者に関わる取組の検討、連携の場。各取組へのボランティア募集を共同で実施。

○向島藤ノ木学区での新たな取組

・小学生対象の学習会を城南児童館にて10月から実施。中学生対象の学習会を城南保育園にて毎週土曜日夕方に実施していく。

・藤ノ木子どもキッチンとして、城南児童館にて10月に第1回を実施。

○子育てなんでも相談窓口づくり

・親の孤立を少しでも防ぐ、親同士のつながりづくりの機会・情報をつなぐ窓口としてステップアップ助成を得て検討している。

主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木（二ノ丸学区民児協）、増田（二ノ丸学区子ども見守り隊）日高（二ノ丸北学区社協）、長谷川（3街区G棟）、本田、河野（伏見地区更生保護女性会）、上田（向島中学校PTAOB）、松本、松田、山内（向島藤ノ木学区民児協）、西谷（向島南学区、向島中学校PTAOG）、土橋（MJ学習会運営）他
	事業者	須釜（城南保育園）、大濱（むかいじま健幸プラス）田中（中部はずの実ひろば）、大下、村井（伏見青少年活動センター）、桐澤、田中、山本（伏見区社協）他
	その他	三林、杉本（京都文教大）、美留町（向島駅前まちづくり協議会）、沖野（市住宅公社）、山本（区役所子どもはぐくみ室）長澤（龍谷大）他
	役割	リーダー：検討中 司会進行：高木（二ノ丸学区民児協）、増田（二ノ丸学区子ども見守り隊）*第5回WG以降 書記：長澤（龍谷大）
今年度まず取り組むアクションプログラム・取組	43	既存施設・新規施設において住民主体により、子どもが楽しみ学べる拠点「アフター5スクール」づくりの推進
	50	夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援
主な活動の報告	第3回WG会議	○向島で行われている子ども若者に関わる取組の情報共有 ○新たな取組の検討状況
	第4回WG会議	○向島で行われている子ども若者に関わる取組の情報共有 ○ワーキングの運営体制・役割分担について
	子ども若者拠点づくり実行委員会（月1回開催） ・WGとは別途、民間助成金を得て組織をし、会議を実施している	

第3回ワーキング 平成29年8月5日(土) 参加者:24名

(1) 向島で行われている子ども若者に関わる取組の情報共有

項目	状況・課題(要点)
中学生向け学習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイタウン向島で、週3日実施している。</li> <li>・勉強以前に抱える課題(コミュニケーション等)がある。まずそのサポートをどうするか。</li> <li>・ボランティア募集中。ぜひ多くの学生に参加してほしい。</li> </ul>
高校生年代への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伏見青少年活動センターがMJにて第2火曜日夜に高校生向けの場所として開けている。</li> <li>・これまでに3回実施したが、ちらっと顔を出す程度</li> <li>・待つだけではなく、向島を歩いて回っているが、あまり高校生世代を見かけない。</li> <li>・特に見えていない高校生の「いま」「声」を知る場が必要。</li> </ul>
小学生向けの学習支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが帰宅する際の同行・見守りが必要になっているが、地域住民に協力していただけないか。これは他の取組でも課題となっている。</li> <li>・主催者と保護者、小学校がお互いの緊急連絡先を交換しておくことが必要。</li> </ul>
キッズキッチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回キッズキッチンの後に、中央公園散策を企画している。中央公園の植物や生き物をビデオ学習し、その後公園散策とごみ拾いを行う。</li> <li>・今後月2回実施する。第2土曜日の昼:「自分で調理」、最終土曜日夜:「食事提供」と2つに内容も分ける。</li> <li>・親も一緒に食事をするような場を今後検討してはどうか。</li> </ul>
子ども若者拠点づくり実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向島での子ども・若者支援の各取組が共同でボランティア募集を実施している。立命館、佛教、龍谷大学などでボランティア募集の説明会をした(京都文教大学はこれから)。</li> <li>・実行委員会は新しい取組を相談できる場でもある。</li> </ul>

○活動から見える共通の課題

- ・各取組・拠点から子ども達が帰宅する際の見守りが課題となっている。学区によって見守りの地域活動の状況も異なっている。ルールづくりや見守りのボランティアや体制づくりが必要。

(2) 新たな取組の検討状況

項目	概要
城南児童館・保育園での学習会	<p><u>小学生対象の学習会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城南児童館にて10月から月2回・火曜日夕方(17時-19時)を予定。</li> <li>・宿題と英語あそび、おやつ程度の軽い食事などを予定している。</li> </ul> <p><u>中学生対象の学習会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城南保育園にて毎週土曜日夕方に実施予定。</li> <li>・伏見青少年活動センター(ユースサービス協会)が主体となる。</li> </ul>
城南児童館での子ども食堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を対象とする。</li> <li>・京都府と京都市の子ども食堂関連の助成金を得られたので、これから準備委員会設立に動き10月第4土曜日開始予定。</li> <li>・保育園とも連携しながら実施する。調理は保育園であるが、子ども達が調理するには衛生面で課題がある。</li> </ul>
ラジオ番組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向島ニュータウンステップアップサポート助成金を活用予定。</li> <li>・向島中学校、すばる高校で秋に番組放送を予定。8月25日に向島中学の生徒の収録実施予定。京都文教大学放送局が協力している。</li> </ul>



<b>子育て何でも相談窓口</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向島ニュータウンステップアップサポート事業助成金を申請。親の悩みを受け止め・必要なところへつなぐ窓口、親の孤立を少しでも防ぐ、親同士のつながりづくりの機会とする。</li> <li>・月1回程度MJで相談会を実施。講演会なども企画したい。これらを通して向島を子育てしやすいまちにしていくことが目的。</li> <li>・守秘義務の徹底、相談に対する専門性が課題。もっと身近なところに相談できる場所の方がよい。民生・児童委員やまちの保健室、はすの実ひろばなど、既存の活動とも連携する方がよい。</li> </ul>

**第4回ワーキング 平成29年10月7日(土) 参加者:21名**

**1) 向島で行われている子ども若者に関わる取組の情報共有**

項目	状況・課題(要点)
<b>中学生向け学習会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員OBと学生のボランティアとして活動しているが、担い手が不足している。最近では種智院大学の学生(ソーシャルワーク研究会)が来てくれている。</li> <li>・暗くなってくる季節の送迎をどうするかが依然として課題である。</li> </ul>
<b>高校生年代への取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伏見青少年活動センターが第2火曜日夜にMJを高校生向けの場所として開けている。高校生年代に限らず、居場所を必要としている若者を対象とした場としていきたい。</li> <li>・長く続けて子ども達との関係性をつくるのが大切。月に2~3回は食事の機会などもつくっていく工夫をしていきたい。</li> <li>・夜回りする中で住宅のエレベーターホールなどでたむろしている若者はいなくなった。一方、高校生になると、行動範囲も広くなり夜回りの時間帯にいない可能性がある。</li> </ul>
<b>小学生向けの学習支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都文教大学の学生サークルが担い手となっているが、人数が少なく困っている。また、飲み物代など持ち出しが発生してしまう問題がある。</li> </ul>
<b>キッズキッチン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの集まりはいろいろだが、食べるだけでなく遊びの場ともなっているなど、家族的な雰囲気の間を創出できている。</li> </ul>
<b>1街区での学習支援(中学生むけ勉強会)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生対象に週1回、5年ほど継続しているが生徒は1~2人である。根気強く対応。高校受験する生徒や6年生にも声をかけている。</li> </ul>
<b>子ども若者拠点づくり実行委員会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの共同募集を行うために、京都市内の大学の訪問活動をしている。</li> <li>・勉強を教えるボランティアの参加のハードルは高いモノがあるので、まずイベントへの関わりから入ってもらおう。そのため向島まつりで糸電話づくりを行うこととした。</li> </ul>

○まとめ

- ・乳幼児の「はすの実」から小学生のキッズキッチン、中高生の学習会や夜回りといったように、ぶつ切れになるのではなく長い目で子どもに関わっていけると良い。そうすると友達も連れてきてもらいやすい面がある。
- ・長い時間をかけて関係性を構築して、「この人と会いたい」となることが大切、まちの中で人と出会える環境が大切。

## (2) 新たな取組の検討状況

項目	概要
城南児童館・保育園での学習会	<p>小学生対象の学習会（城南児童館にて）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・杉本先生のゼミ生が10月から英語を教えようとしたが生徒集めなどで苦戦している。</li><li>・軽い食事提供はアレルギーの問題などもあって児童館と相談しながら検討している。</li><li>・児童館のルールがあり、17時～19時で実施する予定。</li></ul> <p>中学生対象の学習会（城南保育園にて）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・11月11日から中3生を主な対象にはじめる予定。</li><li>・伏見青少年活動センター（ユースサービス協会）がコーディネーターとなり、ケースワーカーや伏見区役所子どもはぐくみ質とも連携して、生徒への呼びかけを行なう。</li></ul>
城南児童館での子ども食堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・藤ノ木子どもキッチンとして、子ども主体の企画、10月7日午後からスタートする。</li><li>・食事が取れていない子どもを主な対象にしているが、そのことを前に葉出さない。</li><li>・管理栄養士の方からも料理の方法を教えてもらい、大人は見守る立場で進めていく。</li></ul>
ラジオ番組	<ul style="list-style-type: none"><li>・文教シェルパの協力で9月28日に向島中学校の校長先生がラジオ番組に出演、10月は留学生が出演予定。</li></ul>
その他関連する取組	<p>○向島まつり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・10月29日開催。すばる高校なども出店予定。二の丸学区は昔の遊び講座などを行う。FMラジオに先生や子ども達が出演してもらうなど、お祭りに子どもが参加できる機会をつくっていく。</li></ul>

## (3) ワーキングの運営体制・役割分担について

- ・まずは会議の進行を住民で担っていくことにする。次回は高木さんと増田さんをお願いします。
- ・記録は龍谷大学学生の長澤さんをお願いします。

## 今後の予定

### 第5回子ども若者支援ワーキング

日時 平成29年11月25日（土）午前10時 場所 向島学生センターセミナーハウス  
事項 各取組の情報共有、課題の確認・連携の必要性の検討

<b>暮らし・安心 活動報告</b>	担当取組項目：14～19, 53～64
--------------------	---------------------

地域住民や地元事業者によるコミュニティの場づくりを中心に取組が推進されている。

○障害当事者による組織づくり  
 障害当事者が中心となって、多様性に富む向島地域における様々な方の居場所づくりについても着手し、各団体の連携を深め、相互にサポートし合える関係作りを目指している。

○先進事例や施設の視察、交流会  
 今後の取組のため、健幸プラス訪問看護ステーション「まちの保健室」見学や「八幡市地域包括ケア複合施設 YMBT」視察を行い、向島の地域事情に適した支援の在り方について、地域住民の学びを深めてきた。また今後、藤沢市「小規模多機能ホームぐるんとぴー」の代表・菅原健介氏を招き、講演会・交流会を実施予定である。

○健幸プラス訪問看護ステーション「まちの保健室」の設置  
 向島ニュータウンセンター商店街内に、地域住民からの要望を受けて、訪問看護+リハビリの場としての機能を持たせた「まちの保健室」を株式会社健幸プラスが新設した。

<b>主なメンバー (敬称略)</b>	地域住民	高木、佐々木（二ノ丸学区民児協）、増田（二ノ丸学区子ども見守り隊）、日高（二の丸北学区社協）、山内（向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会）、小山（向島公団住宅自治会）、福井（二ノ丸北各種団体連絡協議会）、小島（1街区）、黒多、矢吹、櫻田（5街区）、木村（11街区）、藤井（3街区）、遠山（夕陽紅の会）他
	事業者	平田、佐藤（愛隣館）、岩城、福井（むかいじま病院）、谷口（あじさいガーデン伏見）、西川（地域包括支援センター）、高（こうふく介護サービス）高田（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション）、他
	その他	吉村、馬場、杉本（京都文教大）、中嶋（伏見区役所）、美留町（向島駅前まちづくり協議会）他
<b>今年度まず取り 組むアクション プログラム</b>	53	街区集会所等による高齢者サポート拠点（介助ステーション、食事スペース、バリアフリー整備などのリニューアルなど）づくり
	55	障害者の地域活動、まちづくり活動への参画とその支援
	59	中国帰国者等の生活課題、ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し、支援策等を検討
	60	中国帰国者等間のネットワークづくり及び中国帰国者と地域住民のサポーターとのネットワークづくり
<b>主な活動の報告</b>	第3回 WG 会議	○健幸プラス訪問看護ステーション「まちの保健室」見学報告 ○「八幡市地域包括ケア複合施設 YMBT」視察報告 ○障害当事者の組織づくり（報告）

**第3回ワーキング 平成29年9月2日（土） 参加者：26名**

項目	概要・今後の取組
<b>健幸プラス訪問看護ステーション「まちの保健室」見学報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちの保健室」は地域住民の要望を形にしたもの。訪問看護+リハビリの場としての機能を持たせ、少人数のコミュニティの形成を目指している。</li> <li>・地域住民が主体となって活用することが重要である。モデル事業として確立させ、他の場所でも広がっていくことが望ましい。</li> <li>・利用の在り方が広がっていくと、他の事業所にも声をかけて、様々な事業所が利用していき、より地域ニーズに即した活用が望まれる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設は活用されて価値を増していく。様々な活用例をつくっていくことが大事である。</li> </ul>
<b>「八幡市地域包括ケア複合施設 YMBT」視察報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男山団地内に位置する地域包括ケア複合施設。男山団地内には、向島ニュータウンと違い、特別養護老人ホームがなく、地域事情に即している。</li> <li>・向島ニュータウンにおいては、男山団地のように1箇所を人に集中させるのではなく、小規模の訪問や居場所、専門家による相談の場を増やしていく方が地域ニーズに即しているのではないか。</li> <li>・高齢者福祉/障害者福祉/児童福祉と分けるのではなく、子どもも高齢者も、障害者も混ざって地域と関わり、互いにサポートしあうことが、向島らしさではないか。</li> <li>・地域の福祉サービスを地域住民はあまり把握していないことが見受けられる。情報発信や地域住民が相談できる場も必要ではないか。</li> </ul>
<b>障害当事者の組織づくり（報告）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向島ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業に「にじいろ準備プロジェクト」（多様性のある居場所作りに向けた各団体との連携及び地域住民への理解促進）を申請。異なる文化背景を持つ方や障害当事者など、多様性に富む向島地域に、様々な人が楽しく集える場をつくる。今後、社会的マイノリティ支援に取り組む「バザールカフェ」への見学を行う。</li> </ul>
<b>今後の予定</b>	
<b>「暮らし・安心」交流会</b> 日時 平成 29 年 11 月 13 日（月）午後 1 時      場所 京都文教マイタウン向島（MJ） 事項 藤沢市「小規模多機能ホームぐるんとぴー」の代表・菅原健介氏の講演、健幸プラス、愛隣館の見学等	



暮らし・安心ワーキングの様子

## 防災・防犯ワーキング【防災】活動報告

担当取組項目：68～87

「市営住宅空き住戸の避難所活用」と「災害時要配慮者の情報把握や避難支援体制づくり」について率先して検討を進めている。

○「市営住宅空き住戸の避難所活用」の検討

必要とする住民・世帯について、ひとりひとりの避難計画づくり等と合わせて数と支援を必要とする方のニーズ両方を確認しながら、モデル地域として二の丸学区市営住宅での空き住戸の避難所活用を検討、市と協議を行なっている。

○「災害時要配慮者の情報把握」

上記の空き住戸避難所活用のために必要な住民の把握と合わせて、新たに二ノ丸学区で取り組まれる予定の「我が家の避難計画」づくりを機会としたコミュニケーションを図る取組を進めている。

主なメンバー (敬称略)	地域住民	珍田(向島藤ノ木学区自主防), 岡崎(向島二の丸北学区自主防) 児玉(二ノ丸北学区自主防), 増田(二ノ丸学区自主防), 矢吹(日本自立生活センター(二ノ丸学区)), 高木(向島二ノ丸小学校子ども見守り隊他), 上代(向島学区自主防災), 野崎(向島南学区自主防), 奥田(向島南学区) 他
	事業者	佐藤(あいりん), 西川(地域包括支援センター), 桐澤(伏見区社協) 他
	その他	杉本(京都文教大), 東山, 吉川(伏見区役所まちづくり推進担当, 総務防災担当), 伏見消防署向島出張所 他
	役割	リーダー: 珍田(向島藤ノ木学区自主防) 書記: 佐藤(あいりん)
今年度まず取り組むアクションプログラム・取組	70	配慮必要な住民の情報共有とニーズ調査
	75	災害時要配慮者の避難誘導, 支援の関係, 体制づくり (関連: 74 避難行動シートづくり)
	76	防災訓練の見直し, 充実(訓練への多様な人の参加)
	78・79	空き家の避難所活用とマニュアル・ルールづくり
	90	危険箇所等のマップづくり
主な活動の報告	第4回 WG 会議	○防犯に関する取組に進め方の確認 ○市営住宅空き住戸の避難活用に向けた協議の準備 ○二ノ丸自主防災会「わたし(家族)の避難計画」づくりについて
	リーダー・事務局 打合	○珍田リーダーほか事務局で市営住宅空き住戸の避難活用に向けた考え方の整理や第5回WG会議資料の打合せを行なった。
	第5回 WG 会議	○市営住宅空き住戸の避難活用に向けた協議の準備 ○要配慮者情報の把握のための訪問活動の検討
	第6回 WG 会議	○市営住宅空き住戸の避難活用の協議の直前準備・確認 ○向島学区・向島南学区での災害時避難に関わる課題の共有等

### 第4回ワーキング 平成29年7月22日(土) 参加者: 21名

(1) 防犯の取組体制について(確認)

・防犯推進委員支部長・警察・区役所・市役所等との打ち合わせ内容の共有し, 今後の防災と防犯とに分けて取組WGを実施していくことを確認した。

(2) 市営住宅空き住戸の避難活用に向けた協議の準備

○包括支援センター・消防署で把握している支援が必要な方・世帯について共有できる情報について

・個人情報保護の点からそのまま情報共有はできない。

・ただし、支援が必要な方の世帯数について各棟・各階ごとに数字を共有することは可能。

○空き住戸を緊急避難先として活用できた場合の課題について

・住戸での水道や広さなど設備は十分か。その方の生命を守るための支援や準備もあわせて行なうために何が必要か検討する必要がある。

・そのために、ひとりひとりの避難計画づくりの支援が必要。

○住戸に整備しておくべき内容について

・予めその人に必要な資材等は準備しておくことや助け合いの関係をつくっておくことも重要だが、物資を置く場所としての利用も必要（水・電気等）

・倉庫として使うことになれば、市営住宅の目的外使用となるが、備蓄倉庫についても水害を想定すれば、上層階においておくべきである。

○学区や街区で状況は異なるが、まずはモデル街区等を決めて取組、向島全体でその実践を共有しながら進めていく。

### (3) ニノ丸学区自主防災会での取組

○「わたし（家族）の避難計画」シートを作成し、9～10月にニノ丸学区に全戸配布を行なう。

## 第5回ワーキング 平成29年9月16日（土） 参加者：17名

### (1) 市営住宅空き住戸の避難活用に向けた協議の準備

○最新のハザードマップでの向島の浸水リスクの確認

・歴史から見ても、現在のハザードマップからみても向島は浸水被害のリスクが高い。

○市営住宅空き住戸の活用方法の可能性について3パターン確認。

・火災時用の部屋の使用、空き住戸の使用、用途廃止空き住戸の使用等、活用といってもいくつかの方法と条件がある。

○ニノ丸自主防災会での「我が家の避難計画」づくりとアンケートの取組進捗状況について共有

・安否確認がしやすいように、救助・支援を必要とする方には防災委員と相談し、個別の避難計画づくりへとつなげていきたい。

・水害と地震災害とで分けて考えておく必要がある。

### (2) 要配慮者情報の把握のための訪問活動の検討

○地域包括支援センターより避難困難者数の共有

・75歳以上の老老世帯、独居世帯、また障がい者世帯を要配慮者として消防とともに全戸訪問して把握している（ただし、向島南学区、10・11街区は今年度から行うためまだ把握できていない）

→空き住戸の緊急避難所活用はまず、避難困難者数の多い1街区をモデル街区にしてニーズ調査や市との協議を行うことにする。具体的な避難困難者数や避難場所の希望、空き住戸の避難希望など聞き取っていく。

### (3) 空き住戸の緊急避難所活用にむけた市との協議・話し合いの場について

○話し合いには各学区から1名ずつ（自主防災会会長等）参加し、障がい者・高齢者の当事者も参加。

○10月下旬以降で話し合いの場を予定。

## 第6回ワーキング 平成29年11月5日（日） 参加者：名

○市営住宅空き住戸の緊急避難所活用にむけた市との協議の準備・確認

○向島学区・向島学区の防災上の課題認識、現状把握、共有 等

昨日に開催した会議のため、口頭にて簡単に捕捉説明いたします。

## 今後の予定

**市営住宅空き住戸の緊急避難所活用にむけた市との話し合いの場**

日時 平成 29 年 11 月 10 日（金）10 時～ 京都市役所

**防災防犯取組ワーキング会議（防災第 7 回）\* 本資料の作成が第 6 回開催前のため次回未定**

日時 平成 29 年 12 月以降 実施

**防災・防犯ワーキング【防犯】 活動報告**

担当取組項目：88～96

- 防犯をテーマに、防災とは別でワーキング会議を実施することにした。
- メンバーは区役所や警察署等が所管する地域の防犯や交通安全等に関わる役に就かれている方を中心とした。
- 各役での横のつながりが弱い、情報共有があまりできていないことから、まずは課題や情報共有からは始めている。
- 防犯マップを用い、危険な箇所等を共有しながら、改善が必要な場所への対応を検討していく。
- まちへの意識を高め、住民同士でのコミュニケーションにもつなげることも目的に、向島全体での一斉美化活動の実施について、今後検討していく。

主なメンバー (敬称略)	地域住民	中西（向島；伏見地域交通安全活動推進委員協議会、向島交番協議会、向島防犯委員）、福井（二の丸北；世界一安心安全おもてなし担当者会議）駒井（二の丸；交通安全推進委員）、山内（向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会）、山本（向島南；世界一安心安全おもてなし担当者会議、安心安全ネットワーク）、田嶋（8・9 街区自治会長、向島藤ノ木学区社会福祉協議会）他
	事業者	—
	その他	杉本（京都文教大）、東山（伏見区役所まちづくり推進担当）、伏見警察署 他
	役割	リーダー：検討中 書記：検討中
今年度まず取り組むアクションプログラム・取組	90 91	危険箇所の把握、マップづくり等 住民による美化活動の充実
主な活動の報告	第 1 回 WG 会議	○防犯WG第 1 回開催の経緯、ビジョン内容共有 ○防犯WGの目的、体制や進め方の共有 ○各学区・各活動での防犯の取組の情報共有・問題意識の共有
	第 2 回 WG 会議	台風の影響により延期

**第 1 回ワーキング 平成 29 年 8 月 27 日（日） 参加者：11 名**

**(1) 防犯ワーキング第 1 回開催の経緯**

- ・防災と防犯とに分かれて取組ワーキンググループ会議を実施していくことや、防犯推進委員支部長及び市役所・伏見区役所・伏見警察署の担当者で行なった打ち合わせ内容を共有した。

**(2) 防犯ワーキンググループの目的の確認**

- ・向島地域の防犯に関連する地域の役や取り組んでいる方・関心がある方が集まり情報交換から始める。
- ・まちづくりビジョンに掲げる防犯に関連する取組について、できることから進めていく。

**(3) 各学区・各活動での防犯の取組の情報共有・問題意識の共有**

- ご近所づきあいが薄い、個人情報の共有の課題がある。
- 単身高齢者・木造住宅の多い学区には戸締りや火災への心配がある。
- 高齢者を狙った犯罪への対応が住民の取組としても必要。

○広がりつつある地域住民での防犯の取組

- ・3 街区G棟では夜の見回り活動を実施。二ノ丸学区では夏と冬の年 2 回防火・防犯パトロールを実施など。

○防犯カメラの設置推進

- ・防犯カメラの設置が増えてきたことで、犯罪抑止になっていると感じる。
- ・市の補助金もあるが、設置場所が難しい（周辺住民への理解など）

○危険のある箇所・場所について

- ・中央公園の防犯対策：低木や枝の伐採など暗がりへの対応が必要。今年度は京都市で中央公園再整備の予算化されているが、危険なところは住宅供給公社や行政へ伝えていくべき。
- ・商店会内の事故危険箇所：商店会にアクセスするタイル張りの道：木の根が盛り上がってきており、つまづいて危険（京都銀行前など）デザインよりも安全性重視でアスファルト化などが必要ではないか。
- ・向島学区・向島南学区の危険箇所を、伏見区役所が作ったマップの記載箇所を落とし、両学区の議論をしやすいようにするべき。

○中国帰国者とのコミュニケーション・防犯上の課題

- ・言葉の壁の問題があり、コミュニケーションが取りにくい。お互いが交流できる、話しができる機会づくりが必要ではないか。

○向島全体でまちへの意識・コミュニケーションのきっかけをつくる機会としての一斉美化活動

- ・ビジョン取組番号 91「美化活動の充実」に関連して、向島地域全体で、まちの美化活動を一斉に行う日を作ってはどうか。6月の環境月間に合わせてはどうか。
- ・小中学校・子どもたちが主体となれる場に、大人の参加にもつなげたい。子どもが楽しめる要素もあるとよい。PTAの協力も必要。
- ・まちへの関心を高め、防犯にもつながる。中国帰国者含め住民のお互いの交流の機会にもなる。
- ・まずは小さくてもやろうという人たちでスタートしてもよいのでは。
- ・将来的に、向島のPRにつなげる大々的な年1回のイベントにできるのではないか。
- ・誰かにやってもらうのではなく、自分たちでやる。というまちに。公共空間を住民で美しくしていくという文化になれば。

→具体的には次回WGで話し合うこととした。

## 今後の予定

**防災防犯取組ワーキング会議（防犯第2回）** \*10月22日実施予定が台風のため以下に延期

日時 平成29年11月19日（日）午前10時～ 場所 京都文教マイタウン向島（MJ）

- ・各学区・各活動での防犯の取組の情報共有・問題意識の共有
- ・向島全体での一斉美化活動について





防災ワーキング会議の様子